

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 30 年 10 月 12 日

設置・運営主体	学研ココファン・ナーサリー		
設置主体			
経営主体	ココファン・ナーサリー		
事業所名 (施設名)	ココファン・ナーサリー北上尾	種別	保育所
所在地	〒 362-0016 埼玉県上尾市原新町4-2		
電話	048-778-1885		
FAX	048-776-2650		
Email	k.ishikawa@cocofump.co.jp		
URL			
施設長氏名	石川桂子		
調査対応担当者	石川桂子 (所属、職名：ココファンナーサリー北上尾・園：)		
利用定員	75名	開設年	平成 26 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】 すべての人が心ゆたかに生きることを願い 今日の感動・満足・安心と 明日への夢・希望を提供します</p> <p>【保育方針】 ・子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援 ・子ども一人ひとりの認知・発達に応じた、個別の発達支援 ・地域社会の全ての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援</p> <p>【保育目標】 ・心も体も自立した子      ・自律した行動がとれる子      ・他人に対する思いや寛容な気持ちを抱き援助ができる子</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月～金	7:00～20:00	
	土	7:00～18:00	

**【利用者の状況に関する事項】**

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		3
1歳児	12	12	1		4
2歳児	12	12	1		3
3歳児	15	15	1		2
4歳児	15	13	1		2
5歳児	15	14	1		1
計	75	72	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合 計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： ）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名（ 名）
介護福祉士	名（ 名）
保育士	名（ 名）
	名（ 名）
	名（ 名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		13 人	
うち	保育士	10人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	3人	その他 ( ) 人
非常勤職員数		9 人 (常勤換算 6人)	※週40時間非常勤保育士/6名
うち	保育士	7人 (常勤換算 6人)	
	保健師・看護師	0人 (常勤換算 )	人)
	栄養士・調理員	1人 (常勤換算 )	人)
	その他 ( 保育補助 )	1人 (常勤換算 )	人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 0人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		歳 ( 37 歳)	
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		2.9 年 ( 3.1 年)	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)
無し

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○有・無	—
延長保育	○有・無	延長保育料金 ①18:00-19:00スポット300円月極3000円 ②18:00-19:30スポット400円月極4000円 ③18:00-20:00スポット500円月極5000円
休日保育	有・○無	
障害児保育	有・○無	—
一時保育	有・○無	
地域子育て支援センター	有・○無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	有・○無	
アレルギー等対応給食	○有・無	—
その他(事業名: )	有・○無	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

4 人

・ボランティアの業務

上尾市チャレンジ事業(中学生職場体験)

### 【実習生の受け入れ】

・平成 29 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他(保育士) 2 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m <sup>2</sup>	
	入所(通所)者1人あたり	m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	499 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	6.65 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	191.7 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	2.56 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	26年新設オープン

## 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・「苦情等解決の流れ」のフローを第三者委員の電話番号・本社の電話番号を記載して玄関に掲示
- ・「ご意見箱」の設置。玄関ホールに鍵付きのご意見箱とメモ帳と鉛筆を設置。
- ・個人面談やクラス懇談会を設けている。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ①「**学研アプローチ**」という環境設定とねらいを年齢別に定めた冊子による子どもの主体性を伸ばす保育。人・物・空間づくりを最適な状態にし、子どもの主体的な活動を促している。新卒保育士や中途採用採用の保育士も迷うことなく同じ目線の保育に取り組める
- ②「**運営ガイドライン**」を用いて、安心安全な保育の展開をしている。特に衛生管理や、嘔吐処理などは毎年改定される最新の方法を学び集団保育に必要な感染についての意識を高く持って保育している。
- ③「**えほん委員**」による絵本に包まれた保育。学研本社から園児個人へ毎月無償で配布される「**保育月刊絵本**」を利用した豊かな保育。色や手触りや物語に触れ、集団保育の中で自分の本をみんなでめくる楽しさや 自分の本を大切にすることに気づく経験を重ねている。（1歳～3歳）またえほん委員は絵本だよりを制作して配布。保護者の方々にも絵本の豊かな保育をお知らせし、その本のおすすめポイントや子どもたちが好きなポイントを説明している。えほん委員は1年任期で就任し学研の月間絵本編集者からの研修を受けたり、絵本新刊コーナーの展示をし、自園の保育絵本の指導ポイントを伝える役割をしている。
- ④「**知育委員**」による学習。「もじかずランド」（知育教材・ペーパーワーク）の指導。（4歳・5歳）知育委員が指導書を読み込み研修を受けて週1回の学習時間を設けている。知育委員は年に数回の研修を受けて指導ポイントや効果的な助言・褒め方を理解し子どもたちの遊びながら学ぶことに興味を持つ子どもたちにしっかりと寄り添う保育を続け、保護者からも大変ご好評を頂いている。
- ⑤「**多世代交流**」年間計画を立てて高齢者施設、ココファン・北本と連携して交流。高齢者との触れ合い（歌・手遊び・ゲーム・折り紙等）を通して心優しく豊かな人間形成を目指す保育をしている。
- ⑥「**子育て玉手箱**」という取り組みをH30年度から始め、地域の子育て家庭への支援として絵本読み聞かせや手遊び、子育て相談のブースも作り、地域の方々にも寄り添う機会を作っている。
- ⑦「**異年齢保育**」として 年長児が2歳児の入眠時に「トントン隊」という寝かしつけのお手伝いをしている。（お当番制の短時間のトントンお手伝い）大きい子としての自覚に目覚め、小さな子を慈しむ心が芽生える。小さい子は優しさに触れながら大きい子に憧れ、温かな気持ちになる取り組みをしている。
- ⑧「**地域交流**」原新町自治会に加入して 地域の防災訓練（消火訓練・AED・炊き出し訓練）への参加をしている。
- ⑨「**多彩な食育教育**」4名の栄養士が在籍し食の安全を計りながら豊かに子ども達へ食育保育を実践している。野菜を育てること収穫やクッキング保育は特別ではなく、普段の保育の中での取り組みです。

・ 受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）